

『道の台』としての喜びと 決意を胸に、いざ110周年へ！！



第551号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社

立教181年
北海道教区婦人会
委員部長講習会

婦人会長

中山はるえ奥様

ご来庁

8月31日、教区婦人会（山本亨子主任）では中山はるえ婦人会長様をお迎えし、委員部長講習会を開催した。

この講習会は道内の委員部長が一堂に会し、その立場の自覚と成人を図るため、毎年行われている。

今年、婦人会長様をお迎えさせて頂き、「元を知ることの大切さ」について直々にお話を聞かせて頂きました。鳥肌が立ち、涙があふれ、胸にひびく言葉に本当にありがたかったです。思わず頂きました。

婦人会創立110周年に向け、婦人会長様よりお示し頂いた指針に道内の婦人会員全員が心を寄せて、歩みを進めさせて頂こうと誓い、散会した。

（参加人数 618名 ひとしん者 38名 運転手 44名 託児 28名）

◎9月は、にをいがけ強調月間

9月28、29、30日に活発な活動、
教会長路傍講演にも積極参加しよう！！



あなたの身体はあなたのもの？
鏡に映った自分の姿を見てください
いま あなたが目になっているその身体は

自分のものだと思っていないませんか？
でも「実はあなたのものではない」と聞けば
驚かれるでしょうが

私たちは一生のあいだ
この身体を神様からお借りして生きている
そして、心だけが自分のものである
と教えられています

私の身体は私のものだから
勝手に使っても構わないと考えれば
気ままな生き方になるかもしれません
身体は神様からお借りしている

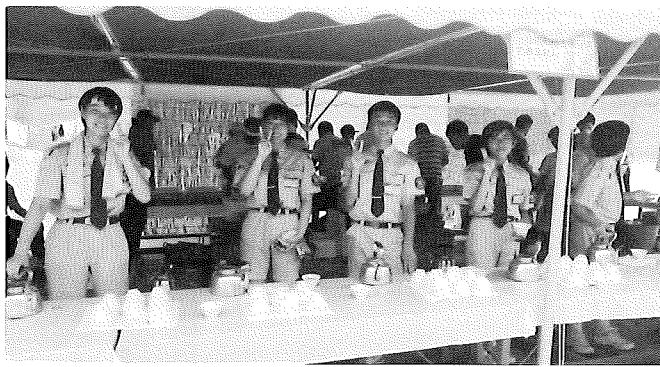
大いなる恵みによって生かされている
そんな思いになれば、感謝の気持ちが生えてきます
いつも喜びの心を持ち、誠実に前向きに生きてゆく

こつした日々の積み重ねが
しあわせの扉を開くのです
(全教一斉にをいがけデー)
(リーフレットより)

立教181年夏のこともおちばがえり
**少年ひのきしん隊員が、
 人類の故郷「ちば」で
 今年も元気に活躍**

今年もとても暑い真夏のおちばで、少年会本部練成会、少年ひのきしん隊を勤めさせて頂く事が出来ました。

今年の少年ひのきしん隊の参加者は半数以上が初参加でした。なれない暑さの中、子供たちが元気におちばで勤められるよう北海道教区の今年のテーマを『ありがとうの言葉を伝えよう』にして数多くの方にありがとうと言葉を使つてつたえよう



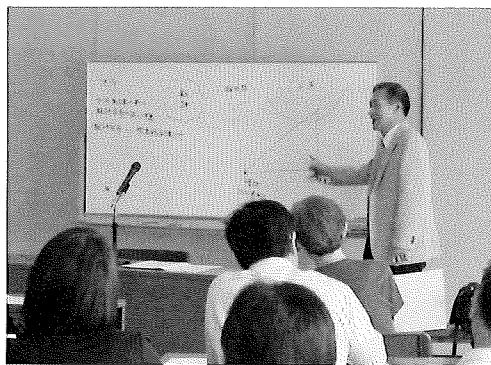
●少年ひのきしん隊員は、会場各所に設置されたお茶所で「冷たいお茶いかがですかー」の声とともに暑さと乾きを癒してくれる。また会場スタッフや出演者として内から支えるなくてはならない存在。中学生なら誰でも参加できます。夜のおやさのパレードにも出演します。北海道からも今年も27人が参加しました。



と、カウンセラー、係員話し合い勤めさせて頂きました。練成会参加前日の研修会で、今回参加できたのは、親神様、教祖が皆さんをお引き寄せいただいたお陰でこの場にいることを伝えさせて頂き、おちばに来たくても来ることのできない、今災害に合われている地域の子供たちの早急の復旧と幸せを願つておつとめをさせて頂きました。今年は一ひのためにおちばでお願い

第2回 天理教学を学ぶ会
「元の理」を深く学ぶ

去る8月12日(日)午後1時から、教務支庁大会議室で、天



いづとめをするというとてもありがたいスタートをさせて頂きました。又、期間中の心の持ち方の一つとして、喜びは掛け算、一人に伝えれば2倍、伝えるだけ倍々になります。逆に悲しみ、苦しみは割り算、一人、二人と話すたびに2分の1、3分の1と少なくなつていきます、みんなと話をしようと伝えさせて頂きました。

今年の猛暑は尋常ではありませんでしたが、子供たちは元気に勤めさせて頂きました。これは、教区長先生をはじめ、教区



理教学を学ぶ会の第2回公開講座を、テーマ「元の理」として開かれ、49名の参加者があった。この学ぶ会は、天理教学の長年の成果を、布教の現場に生かすことを目的として、一昨年8月に発足し、第一回は天理大学教授・佐藤浩司先生に、教学の概略についてお話頂いていた。今年も、講師に荒川善廣・天理大学教授(小樽支部、板山分教会教人)を迎え、一時間半の講演と、一時間の質疑応答というハードなものになった。

先生はお話の中で、「元の理は、過去の事実を説明したものではなく、全人類の救済のための、理の話である。そのために多くの比喩や象徴的な表現を用いているが、例えば、数字は実数ではなく象徴的である。」

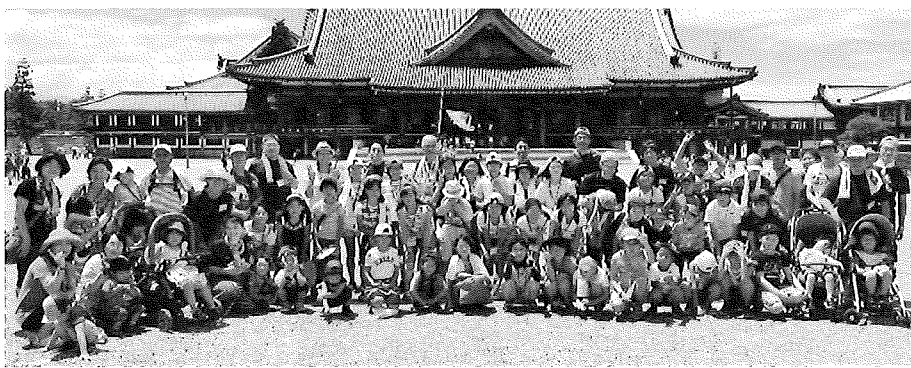
元の理の記述には、生命科学的な解釈では、適合する部分があるといわれる。十全の守護が身の内に入り込んでいるので、当然のことであるが、しかし生命体に限定してしまうと、世界の守護が説明できなくなり、解釈としては不十分である」と。

この当日の資料をご希望の方は、学ぶ会代表の荒川(0134-22-0550)まで、ご一報ください。

方々のお願ひのお陰と、心から感謝させて頂いています。ありがとうございました。又、支部合同おちば帰りも無事に勤めさせて頂いただけましたことも、親神様、教祖のお連れ通りのお陰と感謝と、感謝をさせて頂きました。どこまでも、ありがとうの心を忘れることなく、これからも勤めさせて頂きます。何卒、今後ともお力添いを賜りますよう、お願い申し上げます。今年の報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

教区団 団長 久米田 忠彦

教区団合同隊おぢばがえり



本年は、教区団として練り合
いを重ね、全支部に呼びかけ
て、一緒におぢばに帰ろうと、合
同隊を企画し、こどもおぢばが
えりに参加させて頂きました。
当初は、新日本海フェリーと
太平洋フェリーの二つの行程を
計画しましたが、迷走する台風
の動きによって太平洋フェリー

が欠航。うるたえながらも、全
支部が小樽からの新日本海フェ
リーで出発出来一安心、ご守護
を感じました。

思いがけないアクシデントに
見舞われましたが、そこはお道
の精神で、皆が心を寄せ合い乗
り切って、無事におぢばに着
き、台風一過の、比較的涼しい
おぢばで過ごさせて頂けまし
た。お陰様で、期間中大きな事
故もなく、何よりも、子供たち
が、皆、喜んでおぢばがえりを
楽しんでくれたことが、サイ
コーでした。

最後に、関係の方々にはご心
配もかけ、色々とお世話になり
ました事を、深くお礼申し上げ
ます。
(担当・武田)

- 7月27日小樽港発：28日夜中におぢば到着、おぢば行事に参加：7月31日名古屋港発：8月2日苫小牧港着。

参加支部・12支部。少年会
員・76名。育成会員・40名(現
地参加含む)

参加者の感想文のなから一
部を紹介させて頂きます：
▼友だちの思い出

札幌連合・小5 今井 妃花
私の一番に残ったことは、み
んなと仲良くできたことです。

始めておぢばに来て、友達出
来ないかなあなど、色々思っ
ていたけど、同じ班の子と一緒
に、いっぱい遊ぶことが出来
て、とてもうれしく思いました。
フェリーで過ごした4日間も、一
緒にご飯を食べたり、毎日楽し
い一日でした。

また、「やかたこうわ」など
で、おつとめのことを学びまし



た。パレードではこてきの音が
すぐききれいでした。

おぢばがえりに行ってきてい
いよ、と言ってくれたお母さん
に、とてもかんしゃしています。

▼楽しかったおぢばがえり

北見支部・小5 山本 釉陽
今年は、3回目の参加でした
が、すごく楽しんで良かったで
す。また、船の旅も良かった。
船から見る海も一味違った景色
だった。

おぢばはどこも楽しくて、こ
こが本当に「ふるさと」なのか
と、思うことも、少なくなかつ
た。そして、高校生のお兄さ
ん、お姉さんも優しく接してく
れて、本当に良い旅だったの
で、来年も行きたいと思う。

▼初めてのおぢばがえり

余市支部・中3 高石 耀
今回初めておぢばがえりに参
加しました。この行事はやって



いると知っていたけど、これま
で行くチャンスがありませんで
した。そんな時、おばあちゃん
から「おぢばがえりに行ってみ
ないか」と言われました。
こういう旅行は初めてだけ
ど、楽しそうだし、奈良に行っ
てみて暑さとかを体験したいと
も思っていました。
実際に来てみて、すごい暑
かったけど、どこも本当に楽し
かったし、いい思い出になりま
した。北海道教区のみんなとお
ぢばの行事に参加して、親里パ
レードを見て、長島リゾートに
も行って、ジェットコースター
に5回も乗って、このこどもお
ぢばがえりに来て、本当に良
かったなと思えました。

《参加支部》

札幌四支部、余市、北見、上川、
宗谷、天塩、室蘭、十勝、日高



今年も太鼓まつり開催
 3・11大震災を忘れない
 真の復興を願って
 — 気仙沼より語り部来る —

8月19日(日)、天理教陽気栄分教会(札幌中南支部)境内地を会場に、450名の来場者を集めて、賑やかに開催された。
 7年前の東日本大震災発生時に北海道教区災害救援ひのきしん隊が気仙沼へ出動した際、この会代表の庄田道則氏(陽気栄・会長)が千岩田地区で津波にあった太鼓を譲って頂いて帰ってきた。



上川支部総会

上川支部では、6月9日、永山分教会を会場に、支部総会を開催した。

座りづとめから6交代でおつとめを勤め、総会式、各部連絡の後、記念講演に升崎博之先生(旭台分教会長)をお迎えし



八雲支部総会

合同の総会を企画して

去る6月30日、長万部分教会を会場に、9時半より支部総会を開催。座りづとめ、12下りを少年会員も含めて賑やかにつとめ、引き続き、記念講演として講師に高橋太志先生(教師師・祝梅分教会長)をお迎え、婦人会向けの母親講座を開催。

て、貴重な体験を基に、和やかな中にも感動のお話を頂いた。続いて、青年会、学生会、少年会、女子青年旭川支部との合同による、「にこにこバンド」の演奏で、一生懸命な姿を披露し、健気な姿に参加者(85名)も感激を味わった。
 昼食は、野外で青年会員の焼くバーベキューに、舌鼓を打ち解散した。

新会長さん紹介
 (平成30年6月26日お運び)
 苦小牧支部
 神藤分教会(神川)
 奉告祭 9月2日



小林裕司氏
(49歳)

法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会
 毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。
 ※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭選擇式をおこなっております。

計報

- 馬瀬戸トキ工様 7月11日出直 (100歳)
- 龍占冠分教会前会長 (富良野支部)
- 北森とし様 7月31日出直 (102歳)
- 東札幌分教会前会長 (札幌北西支部)
- 塚原富八様 8月5日出直 (75歳)
- 茂岩分教会会長 (十勝支部)

北海道教務支庁日誌抄
 (7月19日~8月18日)

- 7月26日 本部月次祭選擇式
- 30日 図書修理会
- 8月6日 たすけ推進会議
- 7日 支部長会議
- 9日 任命願書発送
- 10日 事情願書発送
- 12日 天理教学を学ぶ会
- 17日 婦人会例会
- 18日 教区報編集会議

おうた練習

その後お弁当の昼食。青年会YYプロジェクトとして、青年会員を中心に中学生にも頑張ってもらい、子ども横丁を開催。子ども横丁は近隣にも事前呼びかけをして、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥の屋台や、ピザポールすくい、輪投げ、シャボン玉他ゲーム、バザーを用意して楽しませた。賑やかな総会を目指したものであったが、会場には子供たちの楽しむ声が広がり、高齢化する参加者たちの心を和ませた。
 今回は、今まで婦人会と別々の総会からスタイルを変えて初めて試みたが、来年はもっと参加してもらえるように、管内教会に周知徹底していきたい。参加者41名。(うち少年会員7名)